

令和8年度予算主要事業の概要

(事業別説明資料)

河合振興事務所



目 次

飛騨河合音楽の郷の推進	3
止利仏師伝説の伝承	4
国の制度を活用した地域活性化人材の登用 <共通>	5

継続 飛騨河合音楽の郷の推進

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

7,687	ふるさと納税（特定目的）	7,687	負担金	4,959
			委託料	2,728
(前年度予算 6,564)				

2 事業背景・目的

市では、市内の音楽文化の発展を目的として、日本を代表するプロ奏者による「真夏の夜のコンサート」を開催し、市民が地元にいながら優れた文化芸術に触れる機会を提供しています。また、優れた若手演奏家の発掘・育成を目的とした「飛騨河合音楽コンクール」と、その最高位受賞者による「受賞記念リサイタル」の実施により、飛騨市が音楽を志す若者にとっての拠点となることを目指すとともに、音楽を通じた新たな交流人口の獲得にも努めています。

令和8年度も、引き続きこれらの事業を実施し、クラシック音楽を通じた活気あふれるまちづくりを推進します。

3 事業概要

①【継続】飛騨河合音楽コンクールの開催（4,401千円）

国内外で活動する著名な音楽家を審査員として招聘し、「若手音楽家の登竜門」となるような音楽コンクールを開催します。

開催日：令和8年8月7日～8日 会場：飛騨市文化交流センター

②【継続】飛騨河合音楽コンクール受賞記念リサイタルの開催（558千円）

令和7年度グランプリ受賞者によるリサイタルを開催し、若手音楽家育成の取り組みを広く紹介します。

開催日：令和8年6月20日 会場：地域交流センター船津座

③【継続】市内でのクラシック音楽鑑賞機会の提供（2,728千円）

令和7年度と同様、市内各地で多様な形態のコンサートを開催します。なお、引き続き一部事業を専門的なスキルを有する民間事業者へ外部委託し、安定した事業運営と持続可能な運営を目指します。

担当課：河合振興事務所地域振興課（0577-65-2221）予算書：P. 58

継続 止利仏師伝説の伝承

1 事業費（単位：千円）

1,246	ふるさと納税	1,242	工事請負費	1,100
	雑入		4 委託料	143
(前年度予算 1,645)			謝礼	3

【財源内訳】

【主な使途】

2 事業背景・目的

河合町には、法隆寺金堂の釈迦三尊像や飛鳥大仏を造立したと言われる“止利仏師”的生誕地であるという伝説が残っています。地元では、この伝説をテーマにした民話劇や匠太鼓の継承活動が行われてきましたが、時代の推移とともに市内での止利仏師伝説の認知度が徐々に低下しています。

このため、令和2年度に地域資源である天生の森と止利仏師に光を当て、「飛騨の匠」との関連性について調査研究を行い、その成果を企画展として一般公開したところ、延べ1,400人余りが来場し大きな反響を呼びました。以降、止利仏師伝説を伝承するための取組みを継続的に実施しているところです。

令和8年度は、この伝説が色あせることなく次世代へ着実に受け継がれる仕組みづくりのため、河合保育園で紙芝居を披露するほか、天生県立自然公園事業と連携した止利仏師伝説ゆかりの地ガイドツアーの催行や、令和6年に策定したサイン計画に沿った大型案内サイン設置など、引き続き止利仏師伝説をテーマとした地域活性化に取り組みます。

3 事業概要

①【継続】止利仏師伝説の大型サイン設置（1,100千円）

地元の有志団体「飛騨河合止利仏師顕彰会」の意見をもとに、令和6年に策定した止利仏師伝説サイン計画に基づき、河合町元田地区の「よ～らん館」付近に大型案内サインを設置します。

②【継続】止利仏師伝説の継承活動（146千円）

河合小学校へのマンガ「止利仏師ものがたり」の配布や、河合保育園での民話「つきをのんだむすめ」を題材にした紙芝居の披露など、次世代への継承活動を実施します。また、「よ～らん館」を止利仏師伝説の拠点施設として活用し、伝説に関するパネル展示やゆかりの地を巡るガイドツアーを開催するなど、多くの方が伝説を体験できる機会を創出します。

拡充　国の制度を活用した地域活性化人材の登用＜共通＞

1 事業費（単位：千円）

		【財源内訳】		【主な使途】
57,895	一般財源	57,895	委託料	38,404
(前年度予算 61,551)			人件費	11,491
			負担金	8,000

2 事業背景・目的

人口減少先進地である飛騨市では、様々な分野で人口減少や高齢化に起因する人材不足が深刻となっており、これは市役所も例外ではありません。

こうしたことから市では、特別交付税による国からの財政支援のある人材活用制度を活用し、基礎的条件の厳しい集落の支援や、市の様々なプロジェクトを推進するための中心人物として活躍いただく人材を積極的に受け入れ、それぞれの活動を通じた地域力の維持、強化を図っています。

令和8年度は、引き続き地域おこし協力隊や集落支援員制度等により、優秀な人材を確保し、地域活性化の成果を高め、持続可能な地域づくりにつなげます。

3 事業概要

①【拡充】集落支援員の配置（10,912千円）

地域特有の生活課題への対応や住民ニーズの把握、集落と市役所をスムーズに繋ぐ架け橋役として、地域の実情に詳しい人材を配置します。

- (1) 少ない担い手農家で地域営農を維持する取組みへの支援を行う人材を登用（新規）
- (2) 宮川地区のそば栽培に関する取組みの支援を行う人材を登用（新規）
- (3) 宮川地区へ1名配置（継続）
- (4) 関係人口に関する各種支援を行う「関係人口コーディネーター」を登用（継続）

②【拡充】地域おこし協力隊の登用（31,921千円）

- (1) 河合町の伝統工芸品である山中和紙を後世に残すため、紙漉き職人のサポートを行うとともに、山中和紙の魅力発信、販路拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。（継続）
(任期：令和6年5月～令和9年4月まで)
- (2) 奥飛騨山之村牧場での生産活動や、地区の獣害防止活動に従事しつつ、地域資源を活用した山之村地域の交流人口拡大と、子どもたちや移住コンシェルジュとの連携による山之村地域への移住拡大を目指す地域おこし協力隊を登用します。（継続）

(任期：令和6年7月～令和9年6月まで)

- (3) 地域資源である薬草を活用した関係人口の獲得、市民への薬草普及の強化、民間と連携した新規事業の掘り起こし等を推進するリーダー的な人材として、地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和6年10月～令和9年9月まで)

- (4) 市独自の人材育成プログラム「飛騨市作業療法によるまちづくり研究所」の仕組みを新たに導入し、学校をはじめとする作業療法士の確保と育成体制を確立し、全国から優秀な作業療法士の集まるまちづくりを目指しながら、学校作業療法の効果検証によるエビデンスの確立等学校作業療法室の更なる充実を図ります。(継続)

(任期：令和8年度より2年間)

- (5) 広葉樹のまちづくりを推進する中で、市内で産出される広葉樹の流通のボトルネックとなっている土場での仕分け作業、川上から川中へのスムーズな流通の仕組みづくりの取組みを実施するため、地域おこし協力隊を登用します。(継続)

(任期：令和7年度より2年間)

- (6) 友好都市である台湾新港郷との市民レベルでの更なる交流を推進するため、両地域の住民や関係団体との橋渡し役として、台湾新港郷から地域おこし協力隊を登用し、交流事業の企画・運営や情報発信等の活動を行います。(新規)

(任期：令和8年度より最長3年間)

③【継続】地域プロジェクトマネージャーの登用（7,062千円）

自治体のプロジェクトを推進するにあたり、関係者間を橋渡ししつつ、当該プロジェクトをマネジメントできるブリッジ人材を会計年度任用職員として任用する国の制度を活用し、飛騨市の交流人口の拡大と市外からの移住定住者の拡大を目指した戦略的なシティプロモーションを担う「地域プロジェクトマネージャー」を登用します。

(任期：令和6年5月より最長3年間)

④【継続】地域活性化企業人の登用（8,000千円）

地域の活性化を図るため三大都市圏に所在する企業の社員を自治体に派遣し、地域課題に対して専門的な知見を活かしながら即戦力人材として従事する国の制度を活用し、派遣者1名を受入れ、食のまちづくりに向けた各種事業推進を図ります。

(任用期間：令和7年度より2年間)

担当課 : ①-(4)、②-(6)、③-(1) 企画部ふるさと応援課 (☎0577-62-8904) 予算書 : P. 47
②-(4) 市民福祉部総合福祉課 (☎0577-73-7483) 予算書 : P. 69
②-(1) 農林部農業振興課 (☎0577-73-7466) 予算書 : P. 99
②-(2)、②-(5) 農林部林業振興課 (☎0577-62-8905) 予算書 : P. 105
②-(3) 商工観光部まちづくり観光課 (☎0577-73-7463) 予算書 : P. 111
②-(1) 河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書 : P. 58
①-(2)、①-(3) 宮川振興事務所地域振興課 (☎0577-63-2311) 予算書 : P. 58
②-(2) 神岡振興事務所建設農林課 (☎0578-82-2254) 予算書 : P. 58
④-(1) 農林部食のまちづくり推進課 (☎0577-62-9010) 予算書 : P. 100